

一般社団法人RootLoop ― 事業概要

RootLoopとは

Root(根・根源・起源)とLoop(循環・つながり)をかけ合わせた造語。「Root」は、人々や地域、自然の“源”を意味し、私たち一人ひとりの存在が大地に根付き、本来の力を取り戻すことを表しています。「Loop」は、自然・文化・経済・人のつながりが循環すること。RootLoopは、そうした根源的な「在り方」から循環する生命の仕組みを、地域全体に実装することを目指すプロジェクトです。

パーパス(目的)

「幸福・自然・経済の健全な循環を実装する」
地域を“生きもの”と捉え、命のつながりと経済・文化の再統合を図る。

※ 主な事業内容(7つの柱)

1

自伐型林業と森林経営

- ・約200haの地域森林に対して10年スパンの森林経営計画を立案
- ・間伐・作業道整備を国や自治体と連携して推進
- ・材木は製材所・市場等へ流通
- ・国や自治体の制度や事業とも連携を模索



2

流域治水・グリーンインフラの導入

- ・森林整備により保水力を高め、洪水・土砂災害リスクを低減
- ・企業・自治体と連携した防災・減災型林業モデルの構築
- ・民間企業等との共創も視野に



3

カーボンクレジット・生物多様性クレジットと企業連携

- ・CO₂吸収量や生態系保全効果を測定
- ・クレジットを企業へ提供し、SDGs経営との連携を図る
- ・パートナー企業との共創モデルを形成し、資金循環と環境貢献を両立



4

地域資源の循環とプロダクト開発

- ・自伐材 × コンピュータ数値制御切断機による家具・パレルサウナ・床板・木工製品の製造
- ・木育・クラフト体験を通じて木との関わりを次世代へ継承
- ・空き家10棟以上をリノベーションし、滞在・研修・体験の拠点として活用
- ・有機農法と連携し、土中環境と食の循環を再生



5

幸福度・環境・経済の可視化と連携

企業のIoTプラットフォームと連携して以下を可視化

- ・地域の幸福度(アプリ活用)
- ・炭素固定量・生物多様性指標
- ・地域経済の流れやお金の循環(地域通貨との連動)



6

関係人口・人材育成・副業制度の活用

- ・地域企業・公務員の副業化を視野に「防災型自伐チーム」の構築を模索
- ・報酬を地域通貨で支払い、地域内の循環価値として活用
- ・交付金や雇用制度等を活用
- ・空き家拠点をベースに、山・畑・ものづくり体験を通じた人材育成



7

地域文化と住民共創イベント

- ・暇修館(旧郷校)を教育・学びの場として再活用
- ・流鏝馬、山城文化、森の縁日などの地域イベントを展開
- ・住民が主役となり、誇りある地域文化を育てていく土台を創出



地域のつながりと共生ビジョン

RootLoopは、自然と経済だけでなく、地域に暮らすすべての人々の幸福度を高めることを目的としています。

- ・子どもたちに: 自然とのふれあいを通して、五感と創造力を育む学びの機会を提供
- ・親世代に: 地域通貨や共有空間を活かし、育児や暮らしを支え合える仕組みを整備
- ・高齢者に: これまでの知恵と経験を活かし、地域の文化や歴史を次世代へと手渡す“継承の担い手”として関わっていただきます

→ 山や家、祭りに宿る記憶を語り継ぎ、「この地域を生きてきたこと」に誇りを持てるような、世代をつなぐつながりを育てていきます

RootLoopの拠点は、子どもも大人も高齢者も『ただそこにいただけでよい』と感じられる、安心とつながりの場として機能します。

皆さまへ

一般社団法人RootLoopは、2025年5月設立の組織です。

上記の構想をもとに走り出したばかりで、沢山の関係者や協力者を募っています。

ご興味ある方は、ご連絡お待ちしております。

【連絡先】

メール: yskumn@gmail.com 携帯: 090-5806-7364 担当: 海野